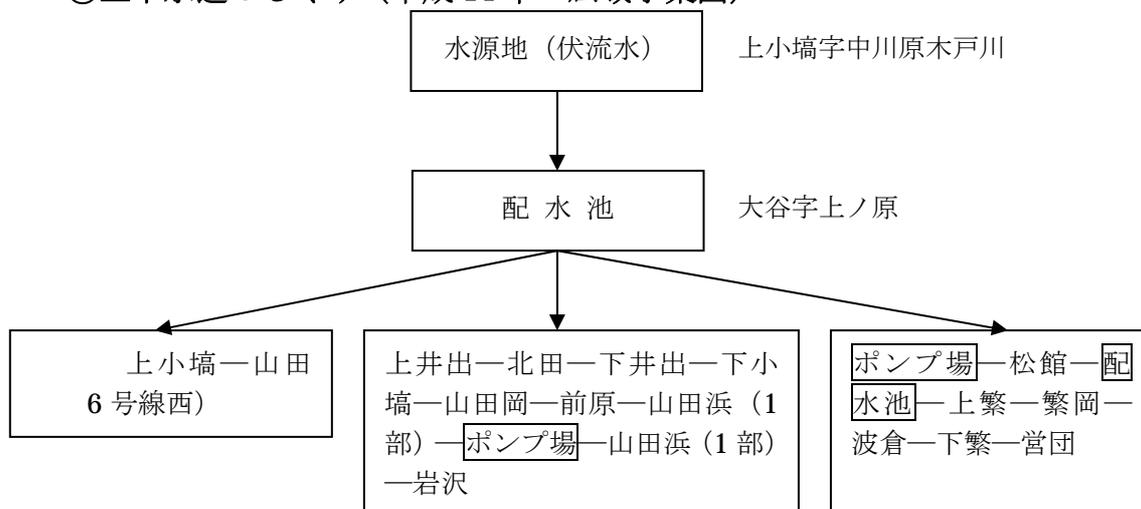


①上下水道のしくみ（平成 14 年 広域事業団）



②町の人口と給水人口の推移

年度	人口	世帯数	給水人口	給水戸数	年間有効水量 (t)	1人1日平均水量 (ℓ)
昭和 44	8,392	1,875				
昭和 46	8,107	1,885	2,335	495	37,373	43
昭和 50	7,949	1,993	6,841	1,677	297,813	119
昭和 55	8,393	2,328	7,694	2,009	530,421	188

③上水道の沿革

昭和 44・3・31	水道事業経営認可 11月工事着工
昭和 46・4・1	給水開始 大谷・北田・上井出・下小埜・山田岡
昭和 46年度	配水管工事 大谷・北田・上井出・山田岡・前原・山田浜・下小埜
昭和 47年度	配水管工事 上井出・松館・上繁岡・繁岡・下繁岡・波倉・下井出
昭和 48～49	第一次拡張工事
昭和 51～55	第二次拡張工事

④下水道

本町には住宅密集地が諸所にいできている。これら密集地の汚水処理は道路わきの小さな側溝に流し入れるか、家敷内にためを掘ってそこに流し込んでいる状態で大変不衛生である。夏ともなると悪臭を放ち蠅や蚊の発生源となっており、大雨のときは汚水が流れ出して一面に広がる状態である。